

【資料1】

令和6年度における施策推進方針（県北広域振興局）について

〇いわて県民計画（2019～2028）の構成

長期 ビジョン

長期的な岩手県の将来を展望し、県民みんなで目指す将来像と、その実現に向けて取り組む政策の基本方向を明らかにするもの

[計画の期間:2019年度から2028年度までの10年間]

**<基本目標> 東日本大震災津波の経験に基づき、
引き続き復興に取り組みながら、
お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて**

アクション プラン

長期ビジョンの実効性を高めるため、重点的・優先的に取り組むべき政策や具体的な推進方を盛り込むもの。

[第1期:R1(2019)年度からR4(2022)年度] [第2期:R5(2023)年度からR8(2026)年度]

復興推進プラン

政策推進プラン

地域振興プラン

行政経営プラン

県央

県南

沿岸

県北

○第2期アクションプラン（県北広域振興圏）の概要

【目指す姿】

多様かつ豊富な資源・技術、培われた知恵・文化を生かし、
北東北、北海道に広がる交流・連携を深めながら、
新たな地域振興を展開する地域

【振興施策の基本方向】

- (1) 隣接する圏域等とのつながりを生かし、一人ひとりが健康で心豊かに暮らせる地域
- (2) 自然豊かで再生可能エネルギーを生かした災害に強い地域
- (3) 誇れる北いわての地域資源を生かした産業が展開し、意欲を持って働ける地域

【計画期間（第2期）】

令和5年度～令和8年度

令和6年度における施策推進方針（県北広域振興局）

県北広域振興圏の目指す姿	多様かつ豊富な資源・技術、培われた知恵・文化を生かし、北東北、北海道に広がる交流・連携を深めながら、新たな地域振興を展開する地域
---------------------	--

自然減・社会減：自然減・社会減対策、DX：デジタルトランスフォーメーション、GX：グリーントランスフォーメーション、安全安心：安全安心、広域：広域振興事業費、北いわて：北いわて産業・社会革新ゾーンプロジェクト

1 人口減少対策

県北圏域の重要課題等	課題解決に向けた取組の方向性
◆ 自然減対策	
1 出生数の増加	(1) 管内町村の実情に合わせた少子化対策の伴走型支援 自然減 (地域課題分析型少子化対策支援)
2 有配偶率の向上と女性の働きやすい職場環境づくり	(2) 結婚支援、子育て支援、女性活躍支援 自然減
◆ 社会減対策	
3 若者の地元定着及びU・Iターンの推進	(3) 若者に魅力ある職場環境づくり、職場定着支援、U・Iターン就職の推進 社会減 、 北いわて 、 広域
4 移住者の増加	(4) 移住定住の推進、移住者受入態勢の強化 社会減 、 広域
5 新たな地域の担い手の定着	(5) 地域おこし協力隊の定着支援 社会減 、 広域
6 交流・関係人口の拡大	(6) 地域資源を活かした周遊観光と交流連携の推進 社会減 、 広域



(フレッシュズカフェ)

2 市町村支援

県北圏域の重要課題等	課題解決に向けた取組の方向性
◆ 小規模自治体支援	
1 人口概ね5千人未満の市町村への支援	(1-1) 普代村・野田村への支援（県職員の派遣等） 社会減 (1-2) 九戸村への支援（市町村連携事業等） 社会減
◆ その他	
2 地域課題解決に向けた取組支援	(2-1) 市町村との連携事業の推進 (2-2) 管内市町村の地域課題解決に向けた取組支援

3 地域振興プラン

県北圏域の重要課題等	課題解決に向けた取組の方向性
I 隣接圏域とのつながりを生かし、一人ひとりが健康で心豊かに暮らせる地域	
1 有配偶率の向上と出生数の増加 2 女性の働きやすく子育てしやすい環境づくり 3 若者の地元定着及びU・Iターン 4 移住者の増加	(1) 結婚支援 自然減 (2) 女性活躍支援・子育て支援 自然減、広域 (3) 若者に魅力ある職場環境づくり、職場定着支援、U・Iターン就職の推進 社会減、北いわて、広域 (4) 県と市町村が一体となった移住定住施策の推進 社会減、広域
II 自然豊かで再生可能エネルギーを生かした災害に強い地域	
1 台風や豪雨災害からの復旧 2 震災の記憶の継承及び想定されている巨大地震津波の減災化 3 再生可能エネルギーへの住民理解	(1) 洪水・土砂災害対策の強化 安全安心 (2-1) 津波防災の普及啓発 安全安心 (2-2) 減災に向けたソフト対策の支援 安全安心 (3) 再生可能エネルギーを活かした地域づくり GX  (津波出前講座)
III 誇れる北いわての地域資源を生かした産業が展開し、意欲を持って働ける地域	
1 農林水産業の振興  (琥珀サーモンの水揚)  (現地伐採技術研修) 2 食産業及びものづくり産業の振興  3 交流・関係人口の拡大	(1) 農林水産業に係る新規就業者の確保支援 社会減 【農業】農業DXの推進、新規品目の産地形成支援、ブランド力向上支援 社会減、DX 【林業】スマート林業の導入、地域材の利用促進支援、林産物の安定生産支援、自伐型林業従事者の定着支援 社会減、DX 【水産業】漁業生産量の回復支援、暖水系魚種の有効利用支援 (2-1) 若者に魅力ある職場環境づくり、職場定着支援、U・Iターン就職の推進 社会減、北いわて、広域 (2-2) 販路拡大、生産性向上の取組支援 北いわて、広域 (3) 地域資源を生かした周遊観光と交流連携の推進、北いわてアドベンチャーツーリズムの推進 社会減、広域

4 その他

◆ 令和6年2月に発生した大雪・強風被害	
<ul style="list-style-type: none"> 2/25～2/28に発生した低気圧により、久慈地域の農業施設、養殖施設や漁港施設に大きな被害が発生 	<ul style="list-style-type: none"> 被災した農林漁業者の早期経営再開に向けた支援 ⇒ 令和6年度一般会計補正予算で1,745百万円の復旧経費等を措置

いわて県民計画（2019～2028）の推進に係る重要課題（県北広域振興局）

1 人口減少対策

【本庁】：本庁事業、【広域】：広域振興事業費、【地経費】：地域経営推進費、【北いわて】：北いわて産業・社会革新ノープロジェクト、【独自】：局単独の取組、【連携】：市町村との連携の取組

現状と課題	対応の方向性及び具体的な取組内容																																				
<p>1 自然減</p> <p>◆ 出生数の減少 県北圏域の出生数は、平成22年と比べて約6割減少</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>出生数</th> <th>H22</th> <th>R5</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県北</td> <td>827</td> <td>361</td> <td>△56.4%</td> </tr> <tr> <td>全県</td> <td>9,879</td> <td>5,575</td> <td>△43.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆ 有配偶率の減少 県北圏域の有配偶率は、平成22年と比べて10ポイント程度減少</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>有配偶率</th> <th>H22</th> <th>H27</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県北</td> <td>59.5%</td> <td>57.6%</td> <td>50.2%</td> </tr> <tr> <td>全県</td> <td>59.3%</td> <td>57.8%</td> <td>49.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆ 女性人口の減少 県北圏域の女性人口は、平成22年と比べて約2割減少</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>女性人口</th> <th>H22</th> <th>R5</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県北</td> <td>64,879</td> <td>51,472</td> <td>△20.7%</td> </tr> <tr> <td>全県</td> <td>696,233</td> <td>664,382</td> <td>△13.6%</td> </tr> </tbody> </table>	出生数	H22	R5	増減	県北	827	361	△56.4%	全県	9,879	5,575	△43.6%	有配偶率	H22	H27	R2	県北	59.5%	57.6%	50.2%	全県	59.3%	57.8%	49.5%	女性人口	H22	R5	増減	県北	64,879	51,472	△20.7%	全県	696,233	664,382	△13.6%	<p>1 自然減対策</p> <p>(1) 少子化対策 意欲ある町村を対象に少子化対策を検討するワークショップ及び調査を実施 【地域課題分析型少子化対策支援事業（市町村少子化対策支援事業費）（新）本庁】 4/22、5/13、7/8 実施済 8月～10月にかけて5回開催予定</p>   <p>(R6.4.22_第1回ワークショップ)</p> <p>(2) 結婚支援 ア 久慈地域、二戸地域において出会いイベントを開催 イ 管内の登録者数が低位にとどまっている「i-サポ」の登録を促進 【北いわて出会い・結婚応援事業】（拡）【連携】地経費</p>     <p>(3) 子育て支援・女性活躍支援 ア 「いわて子育てにやさしい企業等」の認証取得を推進（認証数 R4:27社→R5:29社） イ 「いわて子育て応援の店」協賛店の登録取得を推進（登録数 R4:189店→R5:189店） ウ 働きやすい職場環境づくりをテーマとする企業向けセミナー等を開催、企業訪問を通じて「女性活躍認定企業」の認証取得を推進（認証数 R4:34社→R5:38社） 【働くなら北いわて暮らすなら北いわて推進事業】（継）【独自】広域</p>
出生数	H22	R5	増減																																		
県北	827	361	△56.4%																																		
全県	9,879	5,575	△43.6%																																		
有配偶率	H22	H27	R2																																		
県北	59.5%	57.6%	50.2%																																		
全県	59.3%	57.8%	49.5%																																		
女性人口	H22	R5	増減																																		
県北	64,879	51,472	△20.7%																																		
全県	696,233	664,382	△13.6%																																		

現状と課題

2 社会減

◆ 若者の域外流出

県北圏域では、高等学校卒業者の9割程が圏外へ流出（進学7割、管外就職2割）し、地元就職者は1割程度



◆ 市町村と連携した移住定住

県北圏域では社会減の状況が続いていることから、U・Iターンなどの移住者を増やすための取組が必要。

加えて、圏域には人口概ね5千人未満の自治体が3村あることから、個々の市町村の取組支援に加え、県と市町村が一体となった県北地域への移住定住施策が必要。

県北圏域の社会増減（人）

区分	H22	H27	R5
管内転入	2,447	2,218	1,674
管外転出	3,795	3,479	2,758
増減	△1,348	△1,261	△1,084

対応の方向性及び具体的な取組内容

2 社会減対策

(1) 若者に魅力ある職場環境づくり

小・中学生の工場見学や職業体験、高校生の業種理解セミナーや企業見学会を実施

【働くなら北いわて暮らすなら北いわて推進事業】(継)【独自】広域

【林業・木材産業新規就業者確保支援事業】(継)【独自】地経費

【浜の担い手育成事業】(継)【独自】地経費

(R6.6.11 フレッシャーズカフェ2024)



(2) 地元就職者の職場定着及びU・Iターン就職の推進

ア 新規学卒就職者に加え、新たに社会人2～3年目を対象とした研修・交流会を開催

【働くなら北いわて暮らすなら北いわて推進事業】(拡)【独自】広域

イ 管内アパレル企業へのインターンシップの受入支援、地元企業の認知度向上に向けた教育機関との連携強化

【北いわての産業成長支援事業】(継)【独自】広域

(3) 移住定住の推進

「県北地域移住定住推進プロジェクトチーム」において、県・市町村が一体となった広域的な移住定住の取組により、圏域としての魅力を発信し、移住希望者への訴求力を高める。

ア 久慈・二戸地域における移住体験ツアーの実施

イ 全国的な移住フェアへの参加や首都圏における局主催イベントを通じて地域PR、仕事情報の提供や移住相談を実施

ウ 県・市町村担当者向け移住定住に係る企画力向上研修会の開催

【働くなら北いわて暮らすなら北いわて推進事業】(新)【連携】広域

【北いわて仕事情報発信事業】(継)【独自】地経費

【北いわてU・Iターン促進事業】(新)【連携】地経費



(R5.9.30 THE いわて DAY)

(4) 移住者受入態勢の強化

移住者間のネットワーク強化を図るため、久慈地域の移住者を対象とした交流会を開催

【北いわて移住者定着支援事業】(新)【連携】地経費

(5) 地域おこし協力隊の定着支援

将来を見据えたプランニング研修、学識経験者・隊員OBによる専門家派遣（個別相談）や地域おこし協力隊等活動報告会の開催による任期終了後の定着支援

【働くなら北いわて暮らすなら北いわて推進事業】(拡)【独自】広域

現状と課題	対応の方向性及び具体的な取組内容																																				
<p>2 社会減</p> <p>◆ 観光入込客数の推移 新型コロナウイルス感染症の5類移行等に伴い、観光入込客数が回復傾向にある。</p> <p>1 県北圏域への観光入込客数（延べ万人）</p> <table border="1" data-bbox="226 507 775 627"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>H27</th> <th>R2</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県北</td> <td>313</td> <td>169</td> <td>204</td> </tr> <tr> <td>全県</td> <td>2,899</td> <td>1,687</td> <td>1,833</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 県北圏域への外国人観光客入込数（人）</p> <table border="1" data-bbox="226 683 775 922"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>H27</th> <th>R2</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東アジア</td> <td>53</td> <td>314</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>北米</td> <td>510</td> <td>1,331</td> <td>1,202</td> </tr> <tr> <td>欧州</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>11</td> <td>91</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>579</td> <td>1,740</td> <td>1,317</td> </tr> </tbody> </table>  <p>（世界遺産 御所野遺跡）</p>	地域	H27	R2	R4	県北	313	169	204	全県	2,899	1,687	1,833	地域	H27	R2	R4	東アジア	53	314	61	北米	510	1,331	1,202	欧州	5	4	12	その他	11	91	42	計	579	1,740	1,317	<p>2 社会減対策</p> <p>(6) 特色ある地域資源を生かした周遊観光・交流連携</p> <p>ア 北いわてアドベンチャーツーリズムの推進 開業40周年を迎えた三陸鉄道、みちのく潮風トレイル、奥南部の漆、御所野遺跡など、魅力的な自然、文化、歴史等のコンテンツを組み合わせた付加価値の高い広域周遊モデルルートを作成する「北いわてアドベンチャーツーリズム」を推進 【北いわての地域資源を活用した魅力発信事業費】（新）【連携】【広域】</p> <p>イ 「みちのく潮風トレイル」・「三陸ジオパーク」を核とした三陸へのインバウンド拡大旅行会社等を対象としたFAMツアー等の実施 【北いわてインバウンド新戦略事業】（新）【独自】【地経費】</p> <p>ウ 御所野遺跡等の縄文遺跡を起点とした誘客、周遊促進 <ul style="list-style-type: none"> 御所野遺跡の世界遺産登録周年イベント（7/27）、ラジオウォーク&講演会（10/26） 縄文遺跡デジタルスタンプラリー（7/27～11/30）及び縄文遺跡ガイド交流会の開催 教育旅行誘致、県北地域の観光資源への誘客 久慈・二戸・八戸圏域における周遊観光キャンペーンの開催 【北いわての地域資源を活用した魅力発信事業費】（継）【独自】【広域】</p> <p>エ 歴史文化を活用した魅力発信 九戸城まつり（9月中旬）の開催、お城EXPO（12/21～22）への出展、南部武将隊による情報発信 【北いわての地域資源を活用した魅力発信事業費】（継）【独自】【広域】</p> <p>オ 「海業」の推進 <ul style="list-style-type: none"> 県、市町村、漁業者等の関係機関による「海業」推進組織の構築 「海業」モデル地区の形成 【県北地域における「海業」推進対策事業】（新）【連携】【地経費】</p> <p>カ その他 <ul style="list-style-type: none"> 「あまちゃん」の誘客効果を活用したロケツーリズムの推進 フォトロゲイニング大会の開催 【北いわての地域資源を活用した魅力発信事業費】（一部新）【独自】【広域】</p> 
地域	H27	R2	R4																																		
県北	313	169	204																																		
全県	2,899	1,687	1,833																																		
地域	H27	R2	R4																																		
東アジア	53	314	61																																		
北米	510	1,331	1,202																																		
欧州	5	4	12																																		
その他	11	91	42																																		
計	579	1,740	1,317																																		

いわて県民計画（2019～2028）の推進に係る重要課題（県北広域振興局）

2 市町村支援

本庁：本庁事業、広域：広域振興事業費、地経費：地域経営推進費、北いわて：北いわて産業・社会革新ゾーンプロジェクト、独自：局単独の取組、連携：市町村との連携の取組

現状と課題	対応の方向性及び具体的な取組内容																																												
<p>◆ 県北地域の人口 県北圏域の人口は、平成22年と比べて2割程度減少し、町村部においては3割近く減少している町村もある。</p> <p>県北圏域の人口推移（市町村別、人）</p> <table border="1" data-bbox="203 625 772 1059"> <thead> <tr> <th>人口</th> <th>H22</th> <th>R5</th> <th>増減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>久慈市</td> <td>36,651</td> <td>30,934</td> <td>△15.6%</td> </tr> <tr> <td>普代村</td> <td>3,094</td> <td>2,289</td> <td>△26.1%</td> </tr> <tr> <td>野田村</td> <td>4,639</td> <td>3,710</td> <td>△20.1%</td> </tr> <tr> <td>洋野町</td> <td>17,961</td> <td>14,104</td> <td>△21.5%</td> </tr> <tr> <td>二戸市</td> <td>29,382</td> <td>23,998</td> <td>△18.4%</td> </tr> <tr> <td>軽米町</td> <td>10,041</td> <td>7,723</td> <td>△23.1%</td> </tr> <tr> <td>九戸村</td> <td>6,487</td> <td>5,006</td> <td>△22.9%</td> </tr> <tr> <td>一戸町</td> <td>14,262</td> <td>10,532</td> <td>△26.2%</td> </tr> <tr> <td>県北</td> <td>122,517</td> <td>98,296</td> <td>△19.8%</td> </tr> <tr> <td>全県</td> <td>1,330,147</td> <td>1,163,024</td> <td>△12.6%</td> </tr> </tbody> </table> 	人口	H22	R5	増減率	久慈市	36,651	30,934	△15.6%	普代村	3,094	2,289	△26.1%	野田村	4,639	3,710	△20.1%	洋野町	17,961	14,104	△21.5%	二戸市	29,382	23,998	△18.4%	軽米町	10,041	7,723	△23.1%	九戸村	6,487	5,006	△22.9%	一戸町	14,262	10,532	△26.2%	県北	122,517	98,296	△19.8%	全県	1,330,147	1,163,024	△12.6%	<p>(1) 少子化対策（再掲） 意欲ある町村を対象に少子化対策を検討するワークショップ及び調査を実施 【地域課題分析型少子化対策支援事業（市町少子化対策支援事業費）（新）本庁</p> <p>(2) 小規模自治体支援 ア 県からの派遣職員が参画する事業を支援 【普代村】 震災学習の受入、ラジオ番組を利用した村の魅力発信 【野田村】 ・ 訪日外国人の誘客に向けた英語版の観光パンフレットの作成 ・ 観光・文化イベント等の開催 【地域経営推進費（市町村事業）小規模町村支援事業 2村】（新）地経費</p> <p>イ 自治体のマンパワー不足に対応した支援 【普代村】 県保健所の保健師を週3回程度派遣 【九戸村】 県保健所、村、ボランティア等が連携した自殺対策 【地域経営推進費（県事業）市町村連携枠】（新）【連携】地経費</p> <p>(3) その他 ア 結婚支援やU・Iターン推進等、市町村と連携した事業を推進 【地域経営推進費（県事業）市町村連携枠 9事業】（新）【連携】地経費 イ 久慈市における「琥珀や恐竜化石を活かしたまちづくり」や、二戸市における「奥南部の漆や温泉等を活かしたまちづくり」など、市町村における地域課題解決に向けた取組を支援 【地域経営推進費（市町村事業）一般枠 8市町村 37事業】（拡）地経費</p>
人口	H22	R5	増減率																																										
久慈市	36,651	30,934	△15.6%																																										
普代村	3,094	2,289	△26.1%																																										
野田村	4,639	3,710	△20.1%																																										
洋野町	17,961	14,104	△21.5%																																										
二戸市	29,382	23,998	△18.4%																																										
軽米町	10,041	7,723	△23.1%																																										
九戸村	6,487	5,006	△22.9%																																										
一戸町	14,262	10,532	△26.2%																																										
県北	122,517	98,296	△19.8%																																										
全県	1,330,147	1,163,024	△12.6%																																										

いわて県民計画（2019～2028）の推進に係る重要課題（県北広域振興局）

3 地域振興プラン

本庁：本庁事業、広域：広域振興事業費、地経費：地域経営推進費、北いわて：北いわて産業・社会革新ゾーンプロジェクト、独自：局単独の取組、連携：市町村との連携の取組

I 隣接圏域とのつながりを生かし、一人ひとりが健康で心豊かに暮らせる地域

現状と課題	対応の方向性及び具体的な取組内容
<p>1 自然減</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 出生数の減少（再掲） 県北圏域の出生数は、平成22年と比べて約6割減少 ◆ 有配偶率の減少（再掲） 県北圏域の有配偶率は、平成22年と比べて10ポイント程度減少 ◆ 女性人口の減少（再掲） 県北圏域の女性人口は、平成22年と比べて約2割減少 <p>2 若者支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 若者の圏外流出（再掲） 県北圏域では、高等学校卒業者の9割程が圏外へ流出（進学7割、管外就職2割）し、地元就職者は1割程度 	<p>1 働きやすく、安心して子どもを産み育てられる環境づくりへの支援</p> <p>(1) 少子化対策（再掲） 意欲ある町村を対象に少子化対策を検討するワークショップ及び調査を実施 【地域課題分析型少子化対策支援事業（市町少子化対策支援事業費）（新）本庁】</p> <p>(2) 結婚支援（再掲） ア 久慈地域、二戸地域において<u>出会いイベント</u>を開催 イ 管内の登録者数が低位にとどまっている「<u>i-サポ</u>」の登録を促進 【北いわて出会い・結婚応援事業】（新）【連携】地経費 ウ 本庁主催の出会いイベントを開催 【岩手であい・幸せ応援事業】（拡）本庁</p> <p>(3) 子育て支援・女性活躍支援（再掲） ア 「いわて子育てにやさしい企業等」の認証及び「いわて子育て応援の店」協賛店の登録取得を推進 イ <u>働きやすい職場環境づくり</u>をテーマとする<u>企業向けセミナー</u>等を開催、企業訪問を通じて「女性活躍認定企業」の認証取得を推進 【働くなら北いわて暮らすなら北いわて推進事業】（継）【独自】広域</p> <p>2 若者の地元定着とU・Iターンの推進</p> <p>(1) 若者に魅力ある職場環境づくり（再掲） 小・中学校生の工場見学や<u>職業体験</u>、高校生の<u>業種理解セミナー</u>や<u>企業見学会</u>を実施 【働くなら北いわて暮らすなら北いわて推進事業】（継）【独自】広域 【林業・木材産業新規就業者確保支援事業】（継）【独自】地経費 【浜の担い手育成事業】（継）【独自】地経費</p>



I 隣接圏域とのつながりを生かし、一人ひとりが健康で心豊かに暮らせる地域

現状と課題	対応の方向性及び具体的な取組内容																
<p>2 若者支援</p>  <p>(インターンシッププログラム)</p> <p>3 移住定住等の推進</p> <p>◆ 市町村と連携した移住定住 (再掲)</p> <p>県北圏域では社会減の状況が続いていることから、U・Iターンなどの移住者を増やすための取組が必要。</p> <p>加えて、県北圏域には人口概ね5千人未満の小規模自治体が3村あることから、個々の市町村の取組支援に加え、県と市町村が一体となった県北地域への移住定住施策が必要。</p> <p>県北圏域の社会増減 (人)</p> <table border="1" data-bbox="228 1029 763 1185"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H22</th> <th>H27</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>管内転入</td> <td>2,447</td> <td>2,218</td> <td>1,674</td> </tr> <tr> <td>管外転出</td> <td>3,795</td> <td>3,479</td> <td>2,758</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>△1,348</td> <td>△1,261</td> <td>△1,084</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H22	H27	R5	管内転入	2,447	2,218	1,674	管外転出	3,795	3,479	2,758	増減	△1,348	△1,261	△1,084	<p>2 若者の地元定着とU・Iターンの推進</p> <p>(2) 地元就職者の職場定着及びU・Iターン就職の推進 (再掲)</p> <p>ア 新規学卒就職者に加え、新たに社会人2～3年目を対象とした研修・交流会を開催 【働くなら北いわて暮らすなら北いわて推進事業】(拡)【独自】【広域】</p> <p>イ 管内アパレル企業へのインターンシップの受入支援、地元企業の認知度向上に向けた教育機関との連携強化 【北いわての産業成長支援事業】(継)【独自】【広域】</p> <p>3 市町村と連携した移住定住施策の推進及び新たな地域の担い手の定着支援</p> <p>(1) 移住定住の推進 (再掲)</p> <p>「県北地域移住定住推進プロジェクトチーム」において、県・市町村が一体となった【広域的な移住定住の取組】により、圏域としての魅力を発信し、移住希望者への訴求力を高める。</p> <p>ア 久慈・二戸地域における移住体験ツアーの実施</p> <p>イ 全国的な移住フェアへの参加や首都圏における局主催イベントを通じて地域PR、仕事情報の提供や移住相談を実施</p> <p>ウ 県・市町村担当者向け移住定住に係る企画力向上研修会の開催 【働くなら北いわて暮らすなら北いわて推進事業】(新)【連携】【広域】</p> <p>【北いわて仕事情報発信事業】(継)【独自】【地経費】</p> <p>【北いわてU・Iターン促進事業】(新)【連携】【地経費】</p> <p>(2) 移住者受入態勢の強化 (再掲)</p> <p>移住者間のネットワーク強化を図るため、久慈地域の移住者を対象とした交流会を開催 【北いわて移住者定着支援事業】(新)【連携】</p> <p>(3) 地域おこし協力隊の定着支援 (再掲)</p> <p>将来を見据えたプランニング研修、学識経験者・隊員OBによる専門家派遣(個別相談)や地域おこし協力隊等活動報告会の開催による任期終了後の定着支援 【働くなら北いわて暮らすなら北いわて推進事業】(拡)【独自】【広域】</p>
区分	H22	H27	R5														
管内転入	2,447	2,218	1,674														
管外転出	3,795	3,479	2,758														
増減	△1,348	△1,261	△1,084														

II 自然豊かで再生可能エネルギーを生かした災害に強い地域

現状と課題	対応の方向性及び具体的な取組内容
<p>1 洪水被害対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 二級河川小屋畑川（長内川） 令和元年東日本台風の豪雨により、久慈市において、家屋浸水233戸の被害が発生 ◆ 一級河川馬淵川 令和4年8月に発生した大雨により、一戸町において、家屋浸水34戸の被害が発生 ◆ 石切所の沢 土砂災害発生への恐れがある石切所の沢に砂防施設の整備 <p>2 津波被害の減災のためのソフト施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 津波からの住民避難のための情報充実や安全な避難体制の構築が必要 ◆ 令和5年2月に災害時の緊急避難場所として久慈地区合同庁舎を指定 令和5年11月に指定後、初めての住民津波避難訓練を実施 <p>3 再生可能エネルギーの普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 再エネ導入に向けた機運の醸成 再生可能エネルギーの導入が地域の活性化に資する事業となるよう、住民理解の醸成や地元企業の参入可能性を探る取組が必要 	<p>1 洪水・土砂災害対策の推進</p> <p>(1) 二級河川小屋畑川 広域河川改修事業（久慈市）【国庫】 令和3年度から実施。今年度は小屋畑川の河道付替え工事の推進及び長内川の橋梁下部工の工事に着手。</p> <p>(2) 一級河川馬淵川 基幹河川改修事業（一戸町）【国庫】 令和4年度から実施。今年度は河道掘削工事と用地測量に着手。</p> <p>(3) 石切所の沢 通常砂防事業（二戸市）【国庫】 令和2年度から実施。土砂災害警戒区域内に国道4号や県立北桜高校工業校舎がある石切所の沢への砂防施設の整備。今年度は用地補償を実施。</p> <p>2 減災のためのソフト施策の推進</p> <p>(1) 津波防災の普及啓発 久慈地域の小・中・高校生等を対象とした出前講座の開催</p> <p>(2) 久慈地区合同庁舎への緊急避難場所の指定 高齢者の階段避難等、訓練を通じて明らかになった課題を久慈市と連携して対応</p> <p>3 再生可能エネルギーを生かした地域づくり</p> <p>(1) 再生可能エネルギー導入に向けた支援 北岩手循環共生圏を構成する9市町村との「北いわて再生可能エネルギー勉強会」の開催</p> <p>(2) 再生可能エネルギーに対する企業や住民理解の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 横浜市と「再生可能エネルギーに関する連携協定」を締結する県北市町村が行う再生可能エネルギーの活用や地域間の交流連携の取組を支援 イ 商工会議所と連携した地元企業向け洋上風力発電の普及啓発セミナーの開催 ウ 県北圏域の小学生を対象とした再エネ理解促進セミナーの開催 【北いわて再生可能エネルギー推進事業】(拡)【独自】地経費

Ⅲ 誇れる北いわての地域資源を生かした産業が展開し、意欲を持って働ける地域

現状と課題	対応の方向性及び具体的な取組内容												
<p>1 農業の振興</p> <p>◆ 農業の担い手の減少 農業の担い手を確保し、持続可能な営農体制を構築するため、集落営農組織等の経営基盤強化及び新規就農者の確保が必要</p> <p>県北圏域の総農家数（人）</p> <table border="1" data-bbox="206 576 763 716"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H22</th> <th>H27</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県北圏域</td> <td>9,615</td> <td>8,201</td> <td>6,364</td> </tr> <tr> <td>全 県</td> <td>76,377</td> <td>66,099</td> <td>52,688</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆ 産地をけん引する経営体の育成 地域特性を生かした県内有数の農産物の産地が形成されており、産地をけん引する優れた経営体（農畜産物販売額1千万円以上）の育成が必要</p>  <p>（基盤整備を行ったほ場、林郷下地区）</p>	区分	H22	H27	R2	県北圏域	9,615	8,201	6,364	全 県	76,377	66,099	52,688	<p>1 地域農業を担う経営体等の育成及び新たな担い手の確保</p> <p>(1) 農業の担い手の確保</p> <p>ア 収益性の高い農業の実現に向けて、集落営農組織を対象に、スマート農業機器や経営ソフトの導入などの新たな農業DXの取組を支援 【集落営農組織等ジャンプアップ事業】（新）【独自】DX、地経費（再掲）</p> <p>イ 就農希望者や移住希望者等を対象とした久慈地方の農業・農村の魅力を伝えるオンライン現場視察やリーフレットの配布</p> <p>ウ 関係機関・団体と連携した新規就農者の定住促進に向けた受入態勢の整備 【新規就「業」者確保定着推進事業】（新）【独自】地経費</p> <p>エ 就農相談会の開催（月1回開催）</p> <p>オ 新規就農者の経営に係る早期確立及び安定化に向けた支援や施設・機械の整備 【地域農業計画実践支援事業】（継）本庁、 【経営発展支援事業】他</p>   <p>（就農相談会）</p> <p>(2) 先導的な経営体等の経営発展に向けた支援</p> <p>ア 重点支援対象農家への専門家派遣（税理士や社会保険労務士など）による個別指導や研修会の開催（継）【国庫】</p> <p>イ 産地をけん引する経営体の経営効率化に向けた施設・機械の整備 【地域農業計画実践支援事業】（継）本庁 他</p> <p>ウ 農業DXの普及・拡大に向けた研修会の開催や施肥量・収量のデータの活用による経営改善の促進 【二戸地方農業DX導入支援推進事業】（新）【独自】DX、地経費</p> <p>(3) 営農の効率化に向けた基盤整備の推進</p> <p>ア ほ場整備の推進による農地集積・集約化の促進（継）【国庫】</p> <p>イ きゅうり、りんご等の収益性向上に向けた畑地かんがい施設の整備（継）【国庫】</p>
区分	H22	H27	R2										
県北圏域	9,615	8,201	6,364										
全 県	76,377	66,099	52,688										

Ⅲ 誇れる北いわての地域資源を生かした産業が展開し、意欲を持って働ける地域

現状と課題	対応の方向性及び具体的な取組内容
<p>1 農業の振興</p> <p>◆ 収益性の高い園芸品目の生産拡大 ほうれんそうやきゅうりなどの園芸主要品目に加えて、ピーマンやブロッコリーなどの新品目の生産拡大が必要</p> <p>◆ 飼料や肥料等の価格高騰 飼料や肥料等の価格高騰が酪農経営体等の経営を圧迫していることから、個々の課題に対応した経営改善支援が必要</p> <p>◆ 特色ある農畜産物の安定生産とブランド力の強化 日本短角牛、りんご、やまぶどう、雑穀などの特色ある農畜産物の産地が形成されているが、品目ごとにブランド力の維持発展に向けた支援や安定的な生産に向けた支援が必要</p>  <p>(山形短角牛)</p>	<p>2 地域特性を生かした農畜産物の産地形成と高度な生産技術の導入支援</p> <p>(1) 収益性の高い園芸品目等の産地形成</p> <p>ア <u>生産者への技術支援</u>や優良事例研修等による新規野菜品目の生産の拡大支援、<u>仙台圏等での販促活動強化</u> 【久慈地方野菜産地拡大加速化事業】(新)【独自】地経費</p> <p>イ きゅうりの環境制御技術(炭酸ガス発生装置)やほうれんそう加湿制御技術の導入支援</p> <p>(2) 酪農や肉用牛経営の生産向上</p> <p>ア 作溝式播種機による牧草地の簡易更新技術の実証試験 【県北型GX自給飼料拡大緊急支援事業】(新)【独自】GX、地経費</p> <p>イ 県と農協などの関係機関で構成するサポートチームによる乳牛の飼養管理改善指導 ウ 牧草等の収穫機械導入支援や肥培管理技術指導等</p> <p>(3) 産地化された特色ある農畜産物の販路拡大とブランド力等の向上</p> <p>ア 令和6年度から「果樹・野菜研究室」が新設された県北農業研究所や関係者と連携し、県北地域の気候に適した果樹の生産技術や優良品種の開発を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ブランドりんご「冬恋」の摘果時期や摘果強度等の実証 ・ 若手生産者が選抜するりんごの有望系統の苗木生産支援やバイヤーによる評価会の実施 <p>【ブランド果物育成支援事業】(継)【独自】地経費</p> <p>イ <u>県北地域が栽培適地となる県オリジナル水稲品種「いわて141号」</u>のデビューに向け、モデルほ場を管内6か所に設置し、普及・定着を推進</p> <p>ウ 若手生産者や県北農業研究所等とのりんご「はるか」の品質向上に係る意見交換会の開催 エ 日本短角種の繁殖牛及び肥育素牛の確保に向けた公共牧場の草地整備支援 オ やまぶどうの生産技術の向上に係る支援 カ 農協など関係機関や団体とのアワの新品種「いわてあわこがね」の生産技術研究</p>  <p>(ピーマン栽培)</p>  <p>(若手りんご生産者による現地研修会)</p>

Ⅲ 誇れる北いわての地域資源を生かした産業が展開し、意欲を持って働ける地域

現状と課題	対応の方向性及び具体的な取組内容												
<p>2 林業の振興</p> <p>◆ 林業就業者の確保 県北圏域の林業就業者数は、令和2年度以降減少傾向となっており、新規就業者の確保が課題</p> <p>県北圏域の林業就業者数（人）</p> <table border="1" data-bbox="206 523 763 643"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H30</th> <th>R2</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>就業者数</td> <td>385</td> <td>423</td> <td>381</td> </tr> <tr> <td>うち新規</td> <td>34</td> <td>20</td> <td>24</td> </tr> </tbody> </table>  <p>（自伐型林業従事者）</p> <p>◆ 再造林の促進と木材生産量の減少 人工林での伐採が増加しているが、再造林面積は半分程度に留まっており、山地の荒廃を防ぐために再造林を促す取組が必要。</p> <p>◆ 特用林産物の減少 生産者の高齢化により、原木しいたけや木炭の生産量が減少。 生漆は、漆かき職人の育成は進んでいるものの、安定生産のためには苗木生産作業の省力化と苗質の向上が課題。</p>	区分	H30	R2	R4	就業者数	385	423	381	うち新規	34	20	24	<p>1 意欲と能力ある林業経営体の育成や林業技術者の育成・確保</p> <p>(1) 林業経営体の施業集約化と雇用管理の改善、事業合理化の支援</p> <p>ア 森林施業の集約化や森林経営管理制度の導入を支援 イ 林業経営の集積・集約化の受け皿となり得る経営体の育成 ウ GPSを利用した測量や地理情報システム操作の活用などスマート林業の導入を促進</p> <p>(2) 新規就業者の確保や中核的技術者の育成</p> <p>ア 高校生への体験型林業・木材講座等を実施する林業関係協議会への支援 【林業・木材産業新規就業者確保支援事業】（継）【独自】地経費（再掲） イ 自伐型林業に取り組む地域おこし協力隊への定着支援及び現地伐木指導研修を実施 【自伐型林業スタートアップ支援事業】（継）【独自】地経費 ウ 林業従事者を対象とした伐木技術普及研修や労働安全に関する現地指導の実施</p>  <p>2 森林整備、地域材と林産物の安定生産及び利用拡大</p> <p>(1) 森林整備の推進と地域材の利用促進</p> <p>ア アカマツなどの特色ある森林資源の活用・ブランドPRにより、付加価値の高い建築材等の利用を促進 【南部アカマツ流通開拓促進事業】（継）【独自】地経費 イ 伐採跡地の造林や間伐などの森林整備と路網整備、高性能林業機械の導入を促進【国庫】 ウ 治山施設の整備などにより、山地災害対策を推進【国庫】</p> <p>(2) 林産物の安定生産と販路拡大</p> <p>ア 原木しいたけを使用した新商品開発や販促活動の取組支援、栽培技術研修等の実施 【久慈地方原木しいたけ付加価値向上推進事業】（継）【独自】地経費 イ 岩手木炭の販促活動及び若手生産者育成の取組支援 【日本一の北いわて木炭産業振興推進事業】（継）【独自】地経費 ウ 漆の苗木生産の軽労化と発芽率向上に向けた取組等の支援 【浄法寺漆資源確保支援事業】（継）【独自】地経費</p>
区分	H30	R2	R4										
就業者数	385	423	381										
うち新規	34	20	24										

Ⅲ 誇れる北いわての地域資源を生かした産業が展開し、意欲を持って働ける地域

現状と課題	対応の方向性及び具体的な取組内容												
<p>3 水産業の振興</p> <p>◆ 漁業所得の向上 漁協や市町村等と連携し、地域漁業をけん引する中核的漁業経営体の育成が必要</p> <p>◆ 漁業の担い手不足 漁業者が高齢化により減少しており、漁協や市町村、いわて水産アカデミー等と連携し、新規漁業就業者の確保・育成が必要</p> <p>県北圏域の漁業経営体</p> <table border="1" data-bbox="206 831 763 971"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H22</th> <th>H27</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県北圏域</td> <td>調査できず</td> <td>2,025</td> <td>1,668</td> </tr> <tr> <td>全 県</td> <td>調査できず</td> <td>8,148</td> <td>7,019</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆ サケ資源の大幅な減少 深刻な漁獲量の減少（震災前の1%程度）に見舞われている秋サケについて、漁業者に加え、水産加工などの関連産業にも多大な影響を与えており、資源回復の取組が急務</p>	区分	H22	H27	R2	県北圏域	調査できず	2,025	1,668	全 県	調査できず	8,148	7,019	<p>1 漁業担い手の育成・確保</p> <p>(1) 中核的漁業経営体の育成</p> <p>ア 漁業経営体の企業化、多角経営体育成に係るセミナーの開催 イ 漁業者を対象とした安全操業講習会の開催 【浜の担い手育成事業】(継)【独自】地経費(再掲) ウ 漁業士会、漁協研究グループ、漁協女性部等による担い手確保・育成の取組を支援 【漁業担い手確保・育成総合対策事業】(継) 本庁</p> <p>(2) 新規漁業就業者の確保・育成</p> <p>ア 中高生を対象とした漁業体験等の実施 【浜の担い手育成事業】(継)【独自】地経費 イ 各市町村の漁業担い手育成協議会の活動を支援 【漁業担い手確保・育成総合対策事業】(継) 本庁 ウ いわて水産アカデミーと連携した新規漁業就業者の受入の促進 【いわて水産アカデミー運営支援事業】(継) 本庁</p> <div data-bbox="1005 874 1344 1050" data-label="Image"> </div> <p>(いわて水産アカデミー入講式)</p> <div data-bbox="1731 793 2016 1040" data-label="Image"> </div> <p>(小学生の荒巻サケ作り体験)</p> <p>2 漁業生産量の回復・生産性の向上</p> <p>(1) サケ資源の回復</p> <p>ア 海産親魚の活用等によるサケ種卵確保対策の実施 【さけ資源緊急回復支援事業】(継) 本庁 イ サケ資源の早期回復に向けた放流稚魚の大型化・強靱化の取組を支援 【さけ、まず増殖緊急強化対策事業】(継) 本庁 ウ 「さけふ化場再編マスタープラン」に基づくふ化場間の連携や機能の集約化を支援</p> <div data-bbox="1809 1126 2011 1305" data-label="Image"> </div>
区分	H22	H27	R2										
県北圏域	調査できず	2,025	1,668										
全 県	調査できず	8,148	7,019										

Ⅲ 誇れる北いわての地域資源を生かした産業が展開し、意欲を持って働ける地域

現状と課題	対応の方向性及び具体的な取組内容
<p>3 水産業の振興</p> <p>◆ アワビ・ウニなどの磯根資源の減少 磯焼け（ウニ焼け）が発生し、アワビ資源の減少やウニの身入り低下が生じており、資源回復の取組が必要</p>  <p>◆ ワカメ等の養殖生産量の減少 病虫害や大量斃死の影響により、ワカメやホタテの生産量が減少しており、養殖の安定化の取組が必要</p> <p>◆ 暖水系魚種の増加 海洋環境の変化により、スルメイカやマダラ等の水揚量が減少する一方、暖水系魚種の水揚が増加しており、漁獲量や販路の拡大に向けた支援が必要</p> <p>◆ 安全安心な水産物の提供 安全・安心で高品質な水産物を提供するため、漁獲から流通までの一貫した衛生品質管理レベルの向上に向けた取組が必要</p> <p>◆ 地域水産物の消費量の減少 地域水産物の消費量の減少と販路の縮小が見られることから、直販会やSNS等を活用した情報発信の取組が必要</p>	<p>2 漁業生産量の回復・生産性の向上</p> <p>(2) アワビ・ウニ資源の回復</p> <p>ア 未利用農産物を用いたウニ蓄養技術の開発・普及 【農水連携ウニ蓄養事業】(継)【独自】地経費</p> <p>イ 野田村・洋野町の漁協間連携による餌料海藻供給を支援 【地域連携による餌料海藻確保対策事業】(継)地経費(市町村・広域連携)</p> <p>ウ 効果的なアワビ種苗放流技術(容器放流等)の導入支援 【栽培漁業推進事業】(継)本庁</p> <p>エ 藻場保全・創造方針に基づく増殖場の整備(桑畑漁場、川津内漁場) 【漁村再生交付金事業】(継)本庁</p> <p>(3) 養殖生産量の回復</p> <p>ア ワカメ、ホタテガイ等の養殖技術指導、病虫害モニタリングの実施</p> <p>イ ホタテガイ斃死原因の調査と対策の検討 【養殖業振興事業】(継)本庁</p> <p>ウ サーモン養殖漁場の環境モニタリング調査の支援・指導</p> <p>(4) 漁船漁業の漁獲拡大 漁獲量が増加しているサワラ等の暖水系魚種を対象とした試験操業等を支援 【県北型新漁法チャレンジ事業】(継)【独自】地経費</p> <p>3 生産物の付加価値の向上及び販路拡大</p> <p>(1) 高度衛生品質管理の推進</p> <p>ア 各市町村の高度衛生品質管理計画の取組を支援</p> <p>イ 加工業者等のI F ① H A C C P取得に向けた取組を支援</p> <p>ウ むき身作業場や集荷場における生ウニ衛生管理指導の実施</p> <p>(2) 水産物の販路拡大</p> <p>ア 広報媒体を活用した久慈地域の水産物のPR及び情報発信 【久慈地域魚食普及推進事業】(新)【独自】地経費</p> <p>イ 運搬コストを抑えた首都圏への高鮮度流通モデルの実証 【新たな水産資源利活用モデル開発事業】(継)本庁</p>  

Ⅲ 誇れる北いわての地域資源を生かした産業が展開し、意欲を持って働ける地域

現状と課題	対応の方向性及び具体的な取組内容
<p>4 食産業及びものづくり産業の振興</p> <p>◆ 恒常的な人手不足 高校生の9割が圏域外に進学・就職。 域内での若年者の就職率が低いために 人手不足が恒常化しており、人材確保の 支援が必要。</p> <p>◆ 経営課題に応じた支援 事業者の抱える個々の経営課題に応じ た各種助成金制度や専門家の斡旋・派遣 等の支援が必要</p> <p>◆ 県北地域の食産業 県北圏域には、魅力ある食材を取り扱 う食産業事業所が立地しているが、プロ イラー産業を除くと、大多数が小規模・ 零細経営であり、商品開発や販路開拓、 人材育成の分野での支援が必要</p> <p>◆ 県北地域のものづくり産業 企業の経営課題に応じた制度（県北広 域産業力強化促進事業費補助金等）の周 知やDXの導入など管内企業における先 進的な取り組みの横展開が必要</p>	<p>1 次世代を担う地域産業人材の育成（再掲）</p> <p>ア 小・中学生を対象とした工場見学や職業体験等を実施 イ 高校生を対象とした業種理解セミナーや企業見学会を実施 【働くなら北いわて暮らしなら北いわて推進事業】（継）【独自】広域 ウ 管内アパレル企業へのインターンシップの受入支援、地元企業の認知度向上に向けた教育機 関との連携強化 【北いわての産業成長支援事業】（継）【独自】広域 エ 県北ものづくり産業ネットワークが取り組む企業の若手従業員の合同学習会（ものづくり改 善塾）等の取組を支援 【北いわてものづくり産業人材育成・交流推進事業】（継）【独自】地経費</p> <p>2 地域産業の振興</p> <p>(1) 食産業やものづくり産業の経営課題に応じた支援</p> <p>ア <u>北いわて食産業コーディネーターやものづくりネットワークコーディネーター</u>を配置し、 <u>各企業の実情に応じた伴走型支援</u>を実施 イ トヨタ式カイゼンのノウハウの導入及び定着を図り、企業の成長力向上や労働環境の改善 の取組を支援 【北いわての産業成長支援事業】（継）【独自】広域</p> <p>(2) 北いわての食産業の魅力発信と販路拡大</p> <p>ア <u>首都圏のシェフ等食産業関係者を招聘</u>し、食産業事業者との商談機会の創出や商品開発・ 改良を行う<u>企業訪問ツアー</u>を実施 【北いわて食産業魅力発信事業】（継）【独自】地経費 イ 沿岸広域振興局と合同で、盛岡市内の<u>商業施設での物産イベント</u>を開催（年2回） 【北いわての「食・技」販路拡大促進事業】（拡）地経費 ウ 管内学校へのチキン出前講座、物産イベントによる情報発信の支援 【北いわての産業成長支援事業】（継）【独自】広域</p> <p>(3) 北いわてのアパレル産業の認知度向上と販路拡大 販路拡大を目的とした「いわてアパレル企業ビジネスマッチング商談会」の開催支援 【北いわてアパレル産業認知度向上支援事業】（継）【独自】地経費</p>

Ⅲ 誇れる北いわての地域資源を生かした産業が展開し、意欲を持って働ける地域

現状と課題	対応の方向性及び具体的な取組内容																																				
<p>5 周遊観光と交流連携の推進</p> <p>◆ 観光入込客数の推移（再掲） 新型コロナウイルス感染症の5類移行等に伴い、観光入込客数が回復傾向</p> <p>1 県北圏域への観光入込客数（延べ万人）</p> <table border="1" data-bbox="226 512 775 632"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>H27</th> <th>R2</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県北</td> <td>313</td> <td>169</td> <td>204</td> </tr> <tr> <td>全県</td> <td>2,899</td> <td>1,687</td> <td>1,833</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 県北圏域への外国人観光客入込数（人）</p> <table border="1" data-bbox="226 687 775 924"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>H27</th> <th>R2</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東アジア</td> <td>53</td> <td>314</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>北米</td> <td>510</td> <td>1,331</td> <td>1,202</td> </tr> <tr> <td>欧州</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>11</td> <td>91</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>579</td> <td>1,740</td> <td>1,317</td> </tr> </tbody> </table> 	地域	H27	R2	R4	県北	313	169	204	全県	2,899	1,687	1,833	地域	H27	R2	R4	東アジア	53	314	61	北米	510	1,331	1,202	欧州	5	4	12	その他	11	91	42	計	579	1,740	1,317	<p>1 特色ある地域資源を生かした周遊観光・交流連携</p> <p>(1) 世界遺産「御所野遺跡」や「あまちゃん」などの地域資源を活用した周遊観光、交流連携の促進（再掲）</p> <p>ア 御所野遺跡の世界遺産登録3周年に合わせた管内イベント等の開催 イ 縄文遺跡群を有する隣接圏域（鹿角・八戸）等と連携した情報発信及び周遊観光の促進 ウ 北三陸「あまちゃん」観光推進協議会と連携し、「あまちゃん」効果を活用した宣伝活動等を実施 エ ナニヤトヤラ連邦会議（久慈・二戸・八戸で構成）と連携し、県北・八戸圏域内の周遊促進を図る誘客プロモーションを実施 オ 戦国武将「九戸政実」や「九戸城」等歴史文化を活用した魅力発信 【北いわての地域資源を活用した魅力発信事業】（継）【独自】【広域】</p> <p>カ 「みちのく潮風トレイル」・「三陸ジオパーク」を核とした三陸へのインバウンド拡大を目的としたFAMツアー等の実施 【北いわてインバウンド新戦略事業】（新）【独自】【地経費】</p> <p>キ 県、市町村、漁業者等の関係機関による「海業」推進組織の構築、「海業」モデル地区の形成 【県北地域における「海業」推進対策事業】（新）【連携】【地経費】</p> <p>(2) 北いわてアドベンチャーツーリズムの推進（再掲） 開業40周年を迎えた三陸鉄道、みちのく潮風トレイル、奥南部の漆、御所野遺跡など、魅力的な自然、文化、歴史等のコンテンツを組み合わせた付加価値の高い広域周遊モデルルートを造成する「北いわてアドベンチャーツーリズム」を推進 【北いわての地域資源を活用した魅力発信事業】（新）【独自】【広域】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="925 1174 1189 1353" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1267 1174 1532 1353" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1592 1174 1921 1353" data-label="Image"> </div> </div> <p style="text-align: center;"> (小袖海岸) (みちのく潮風トレイル) (世界遺産 御所野遺跡) </p>
地域	H27	R2	R4																																		
県北	313	169	204																																		
全県	2,899	1,687	1,833																																		
地域	H27	R2	R4																																		
東アジア	53	314	61																																		
北米	510	1,331	1,202																																		
欧州	5	4	12																																		
その他	11	91	42																																		
計	579	1,740	1,317																																		